

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和 3年 2月 22日

事業所名: あうりんこ紫原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員10名。個別療育では1時間枠に2名の利用児童。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			活動や児の様子に合わせて、事前にスタッフの数、配置等を話し合い実施し、休み等調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口にスロープ、トイレに手すりが付いている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝のミーティングを行い、業務改善が必要な際は、すぐにスタッフ間で話し合いの時間を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一回実施、HPIに公表している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年に一回実施、HPIに公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			年に1度公開療育の場を設け、情報交換を実施している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各自が様々な研修に参加できるように調整しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為あまり参加できなかった。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者から日常の様子やニーズ等を聞き、子どもの様子やニーズを踏まえ、支援策定会議にてスタッフで話し合い児童発達支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			遠城寺式・乳幼児分析的発達検査、S-M社会生活能力検査等を利用実施している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフで話し合い、活動内容や課題等を検討し、実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの発達に応じた活動プログラムになるように常に考慮し、実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みは活動前にスタディタイムやフレックシユタイムを設けている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者への生活状況や希望を聞き取りを行い、各療育の利用を勧めている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝・昼にミーティングを行い、スタッフ間で活動の主旨と役割の確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終業時刻に話し合う時間が取れない為、翌朝のミーティングで行っている。重要事項等はその日にうちにメールや電話連絡をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回、活動記録を付けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援会議や保護者へのモニタリングを定期的実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容に基づき、具体的な支援内容をスタッフ内で話し合い、支援している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			個別・集団で子どもの状況を把握している責任者及びスタッフが参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			下校時刻の連絡等いつでも保護者と連絡を取れるよう、電話の他にメールでのやりとりをしている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				※対象児なし	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に関係機関と情報交換を行い、就学前相談の資料提供をしている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				※対象児なし	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			利用児が併用しているセンター・事業所の公開療育に参加し、研修、助言、情報交換を行っている。必要に応じて連絡を取り合い連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	兄弟児が参加できるイベント「夏祭り」を実施している。	今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為実施できなかったが、できる状況になり次第実施予定。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			主に管理者が参加し、その情報を研修にて全スタッフへ報告している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通園の際にその都度情報交換を行い(連絡帳も利用して)共通理解に努めている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	母子通園で関わり方や声掛け等実際に見てもらいながらアドバイスしている。	ペアレントトレーニングについては今後検討していきます。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明。事業所内に掲示し閲覧できるようにしている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に面談を実施。相談は随時受け付けている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	児の発達・年齢に応じて、保護者会を実施している。	今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為実施できなかったが、できる状況になり次第実施予定。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談や申入れについては、早急に対処し、スタッフ間で対応策を話し合い対応している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「あうりんこしんぶん」で支援の内容・写真を掲載すると共に子育てのアドバイス等も掲載している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			写真を掲載する際に顔が分からないようにし、名前を平仮名で表記する等、個人を特定できないように配慮している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カード等で意思が表出しやすい配慮をしている。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	子育て支援関係者連絡会へ参加。地域での行事が新型コロナウイルス感染症予防の為中止になっている状況。	今後、事業所として出来ることを模索していきます。また、夏祭り等地域行事の案内を掲示していきます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防災訓練を年に2回実施している。	防災訓練は実施しているが、防犯訓練は実施しておらず今後検討していきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練を年に2回実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1度研修へ参加、事業所内伝達研修実施。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			同意書への署名・配布。実際に身体拘束した際は個別支援計画・個別記録に記載し、保護者に報告している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				※対象児なし	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成し管理者へ報告。会議にて職員間で共有し、再発防止に向けた対応策を練っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。